

現状維持を前提とした未来は

「縮小均衡」に陥ります。

七十七グループは、その使命を果たし続けるために、
どうなりたいのか。

その思いを新たな経営計画としました。

2023

行是 >

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行ない、もって国民経済の発展に寄与することにある。この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものによるべき軌範を定める。

一、 奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一、 信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一、 和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。



Vision
2030®

未来を切り拓くリーディングカンパニー

行是に記した経営理念(使命)を実現していくために、
未来の七十七グループの姿を描き、
グループ役職員が一丸となって前進する羅針盤となるもの、
それが「Vision 2030」です

2023年 統合報告書 / CONTENTS

INTRODUCTION	02 七十七グループが長期的に目指す「なりたい姿」とは何か 04 どのように企業価値を向上させるか 06 「なりたい姿」の実現に向けた基本戦略	企業価値向上に向けた取組み	30 顧客満足度ナンバーワン戦略 36 生産性倍増戦略 40 地域成長戦略 50 企業文化改革戦略
Top Message	08 トップメッセージ	コーポレートガバナンス	58 株主の皆さまへ 60 ガバナンス体制 66 社外取締役メッセージ 68 リスク管理態勢の強化 69 法令等遵守(コンプライアンス)の体制 70 11年間の主要財務データ 72 プロフィール 73 店舗ネットワーク
価値創造ストーリー	14 成長を続けてきたあゆみ 16 東北エリア / 宮城の現況とポテンシャル 18 財務・非財務ハイライト 20 財務担当役員メッセージ 24 サステナビリティの推進 26 サステナビリティ経営のフレームワーク 28 マテリアリティに関連する主な機会とリスク / 主な取組み		

編集方針

七十七銀行では、このたび、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに当行の持続的な価値創造に向けた取組みをご理解いただくため、「THE 77 BANK INTEGRATED REPORT 2023(七十七銀行統合報告書)」を作成しました。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にし、当行のビジネスモデルや、持続的な価値創造の仕組みを統合的に説明しています。なお、詳細な財務データ等につきましては、「DISCLOSURE 2023」(当行ホームページ<https://www.77bank.co.jp/>に掲載)をご覧ください。



Question

七十七グループが 長期的に目指す 「なりたい姿」とは何か

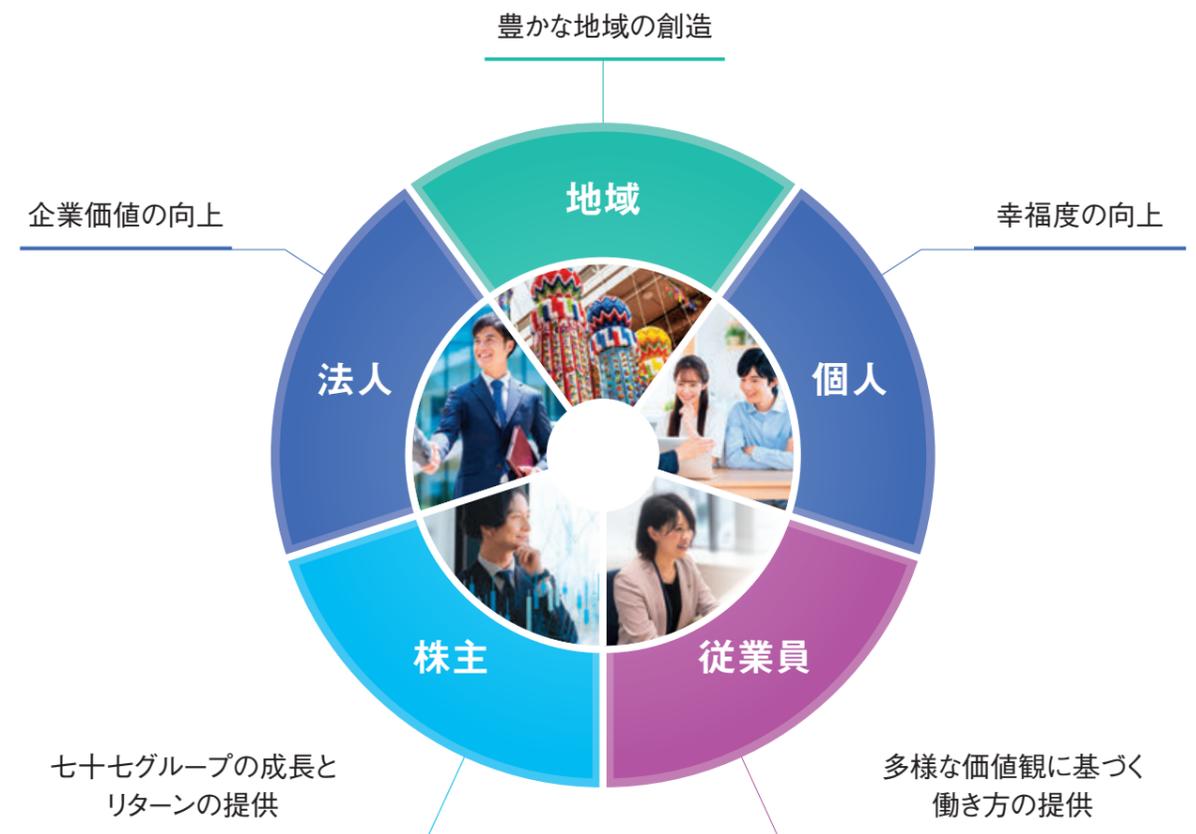
Answer

七十七グループは、地域社会の繁栄のため、
最良のソリューションで感動と信頼を積み重ね、ステークホルダーとともに、
宮城・東北から活躍のフィールドを切り拓いていく
リーディングカンパニーを目指します

地域が抱える少子高齢化や人口減少によるマーケットの縮小などの課題を念頭に、現状維持を前提とした想定では「縮小均衡」に陥る懸念があります。七十七グループが、行是に記した経営理念(使命)を実現していくために、未来の七十七グループの姿を描き、グループ役職員が一丸となって前進する羅針盤となるものが「Vision 2030」です。

「Vision 2030」で掲げる長期的に目指す「なりたい姿」を実現していくことで、ステークホルダーに掲げた使命を果たし続けていきます。

ステークホルダーに掲げた七十七グループの使命



どのように企業価値を向上させるか

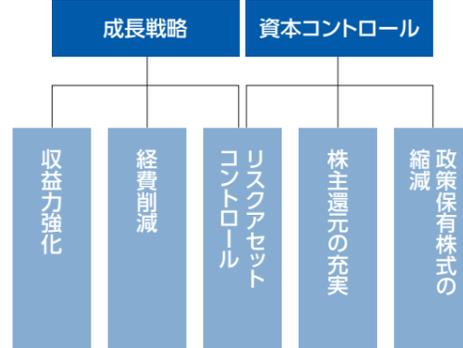
七十七グループ 企業価値向上サイクルの全体像

「Vision 2030」で掲げた成長戦略に基づき、利益水準の引き上げを図るとともに経営効率の向上を通じて企業価値の向上を図ります。

ステークホルダーに掲げた七十七グループの使命



財務戦略



未来を切り拓くリーディングカンパニー

「Vision 2030」の概要

金融機能とコンサルティングを極めるとともに非金融分野における事業領域を拡大



宮城・仙台圏のポテンシャルと東北全域等の有力な顧客を結ぶネットワークを構築



リーディングカンパニー（同じ志を持った者の集団、地域をリードする企業グループ）へ深化



七十七グループの方向性

「なりたい姿」を見据え、七十七グループの強みを伸ばし、弱みを改善し、組織を活性化していくことで、現状の延長線上ではない七十七グループに向かっていきます。

顧客・地域のニーズを喚起する
活躍のフィールドを広げる

生産性を
飛躍的に改善する

挑戦的な企業文化を
確立する

伸ばす!

七十七グループの強み



- 顧客基盤
- コンサルティング体制
- 顧客・地域からの信頼

改善する!

七十七グループの弱み



- 収益力(低収益体質)
- コスト意識(高コスト体質)
- 他社との競争力

確立する!

活性化のポイント



- チャレンジ意欲
- 迅速性・柔軟性
- 組織横断(縦・横・斜め)

キーファクター

現在の延長線上ではない、新たな未来を切り拓いていくためには、その実現に向けたエンジン(=キーファクター)が必要となります。

デジタルトランス
フォーメーション

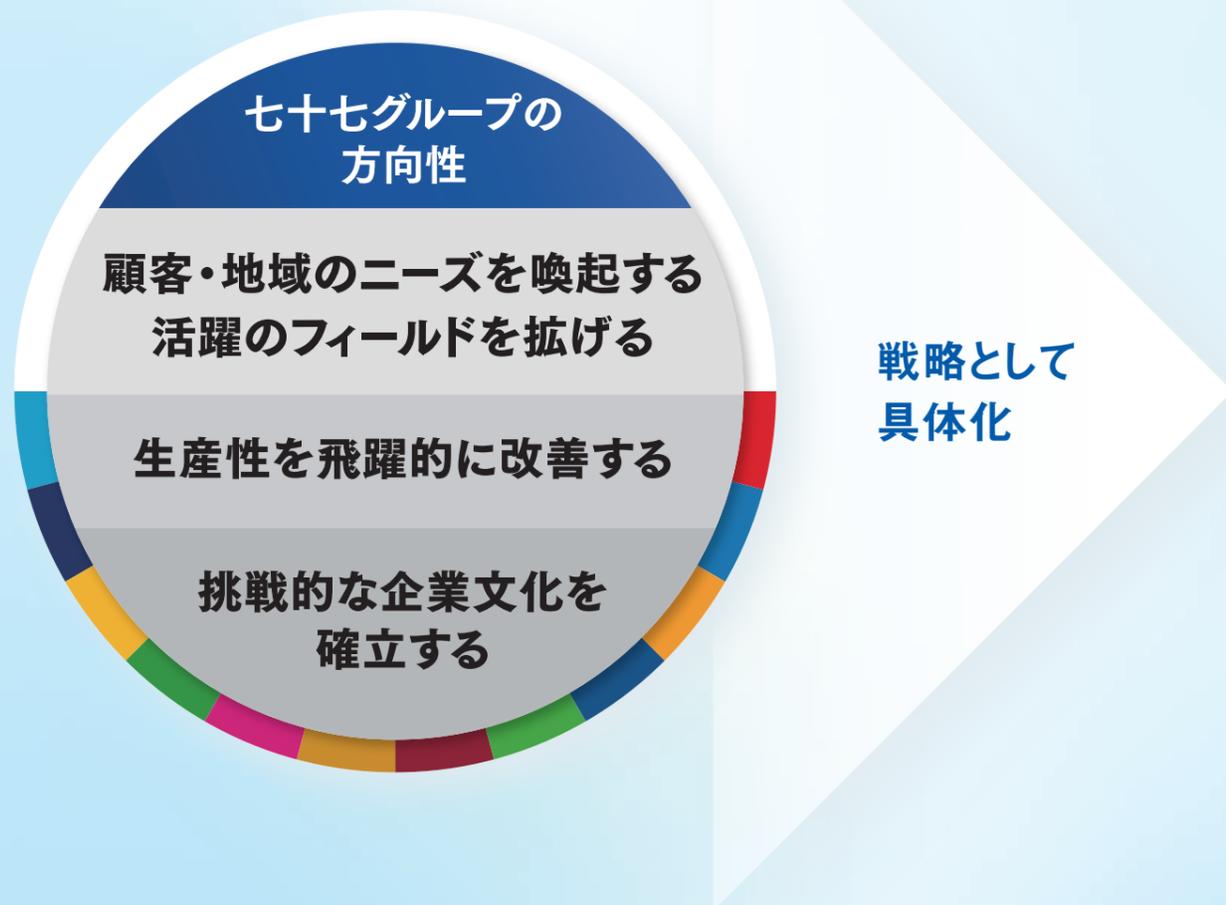
新事業
新分野

人材

財務基盤

「なりたい姿」の実現に向けた基本戦略

「Vision 2030」では、地域経済の活性化やあらゆる人々の活躍推進といったSDGs宣言の趣旨を踏まえ、地域と七十七グループが持続的に成長していくための進むべき方向を描きます。



財務基盤の強化(キーファクター)

	2021年度	2022年度	2030年度 なりたい姿
当期純利益(連結)	222億円	251億円	280億円
自己資本比率(連結)	10.27%	11.23%*	10%以上
コアOHR	58.22%	56.55%	50%台

*2023年3月末より最終化されたパーゼルⅢを早期適用し、自己資本比率を算出しています。

01 顧客満足度ナンバーワン戦略

🤝 コンサルティングとデジタルで感動を!

▶ p30

KPI Let's Try!

- 宮城県内のメインバンク比率を10%増加させる
- 宮城県の人口(20歳~74歳)の20%が当行のローンを利用している
- 宮城県外における法人貸出先数を1.5倍にする
- 将来的な事業化が見込まれる新事業・新分野のプロジェクトを10件立ち上げる(2023年度までに実施)
- 宮城県内全世帯に占める「預り資産保有世帯」の割合を全国平均以上に引き上げる
- 新事業・新分野への進出や既存事業の拡大を通じてグループ会社の当期純利益を2倍にする

02 生産性倍増戦略

🗨️ チャネル改革と事務からの解放!

▶ p36

KPI Let's Try!

- 「本業にかかる労働生産性」を2倍にする
- 非対面チャネルの利用率を3倍にする
- 営業店の事務量を5割削減する

03 地域成長戦略

🏠 地域の持続的成長を実現!

▶ p40

KPI Let's Try!

- 宮城県における経済成長率の向上を支援する
- 「せんだい都心再構築プロジェクト」や「次世代放射光施設」などの宮城県内における地域開発プロジェクトへの関与100%を目指す
- 創業期の事業者に対する成長支援件数を3倍にする
- 七十七グループのCO₂排出量について、2030年度までのカーボンニュートラル実現を目指すとともに、宮城県内の温室効果ガス排出量削減を支援する

04 企業文化改革戦略

🔄 挑戦・自信・明るさの好循環!

▶ p50

KPI Let's Try!

- 「チャレンジ精神の醸成」につながる様々な取組みを実施する
- 顧客・地域に役立つ「専門性を有する人材」を増加させる
- 管理職に占める女性の割合を30%以上にする